

arara

2023年8月期第3四半期 決算説明資料

アララ株式会社
東証グロース：4015

2023年7月14日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

6月20日に上方修正した通期連結業績予想に対し、 売上高の進捗率^{※1}は**77%**、EBITDAは**82%**を達成

売上高は当初の通期業績予想43億円を据え置き。EBITDAは当初の通期業績予想を超える3.7億円（当初業績予想に対して124%）を達成し、通期業績予想を4.5億円に上方修正。

MCM社^{注2}の新株予約権行使が進み、 現預金残高は有利子負債総額を上回る約18億円まで増加

収益構造の改善と、割当先をMCM社とする新株予約権発行及び行使の影響により、流動比率が約108%を超え、自己資本比率も改善傾向

NTTドコモ社^{注3}の電子マネー「iD」ライセンスを取得し、 独自Payは「iD」加盟店でも利用可能に

バリューデザインが提供する独自Payに「iD」を搭載することで、独自Payの利用可能範囲が、従来の店舗内にとどまらず、全国200万か所を超える「iD」加盟店に拡大

（注）1. 2023年6月20日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の修正後予想に対する進捗率を記載

（注）2. マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社

（注）3. 株式会社NTTドコモ

2023年8月期3Q 連結業績概況

売上高／前年同期（単純合算）比

3,321百万円 / **+948**百万円

- 前年同期比は、当社とバリューデザインの前年度3Qの売上高の単純合算との比較。前年同期比で+40%増加
- 増加要因は決済手数料等の経常収益増に加え、バリューデザインの決算期変更による影響、マイナポイント関連売上増及び、新規顧客増による

EBITDA／前年同期（単純合算）比

372百万円 / **+457**百万円

- 売上高の順調な伸長及び、経営統合による業務委託費やサーバー費用等の原価・販管費の削減効果などにより想定を上回る結果

※アララとバリューデザインの前年度3QのEBITDAの単純合算との比較
 ※EBITDAは営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）の合計

売上高進捗率／EBITDA進捗率※

売上高進捗率

77.2%

EBITDA進捗率

82.8%

- 2023年8月期の修正後連結業績予想は、売上高4,300百万円、EBITDA 450百万円。
- 売上高及び、EBITDAは修正後の通期連結業績予想を達成可能な水準

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

通期連結業績予想の上方修正

2022年10月14日開示の2022年8月期決算短信において発表した、当期の通期連結業績予想を上方修正。

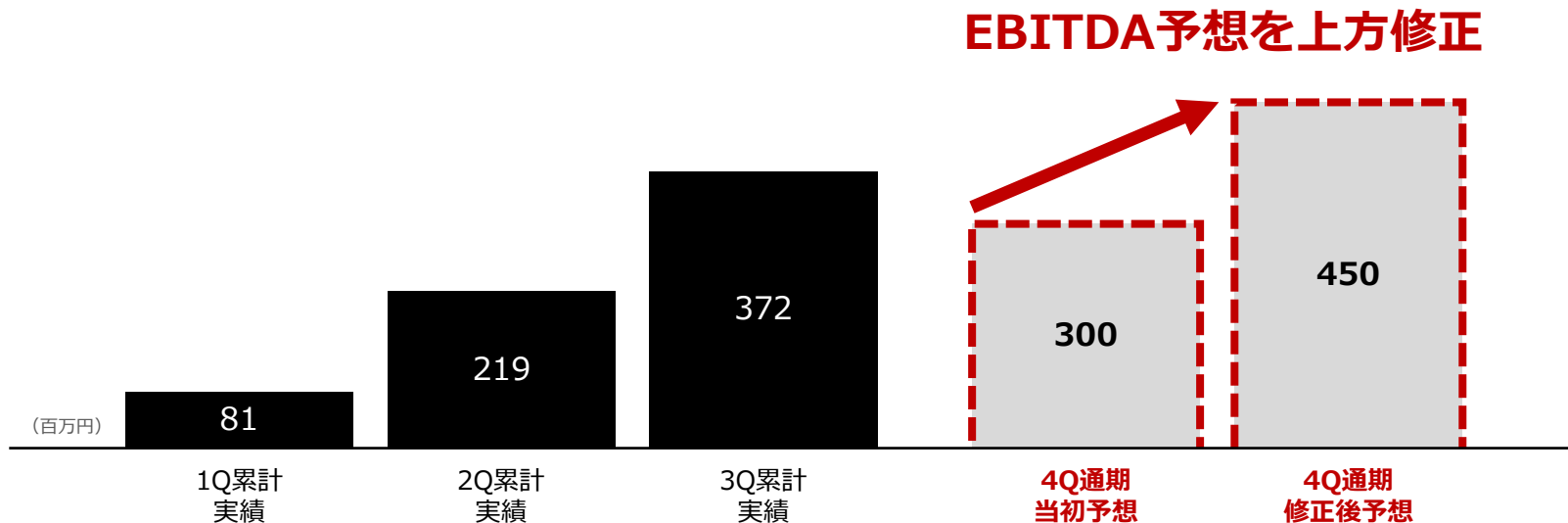
経営統合による業務委託費やサーバー費用等の費用削減により、EBITDAの通期業績予想は450百万円（当初予想比+150百万円）に上方修正。

営業利益は来期以降の業績拡大に向けた投資を想定し、120百万円（3Q時点の進捗率：89.5%）に修正。

	2023年8月期	2023年8月期	2023年8月期	2023年8月期	主な要因
	3Q実績(連結)	修正前(連結)	通期業績予想 修正後(連結)	3Q実績(連結) 進捗率	
(単位：百万円)					
売上高	3,321	4,300	4,300	77.2%	-
EBITDA	372	300	450	82.8%	経営統合による業務委託費やサーバー費用等の費用減少
営業利益	107	▲ 100	120	89.5%	同上

2023年8月期の予想EBITDAに対する進捗状況

当社の重要指標であるEBITDAは当初の通期予想300百万円を上回る372百万円を計上。
修正後の通期業績予想450百万円に対しては3Q実績で82.8%の進捗率のため、達成可能な水準。



1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

2023年8月期3Q 業績概要（損益計算書）

連結売上高は前年同期の単体比で+2,477百万円(+294%)増加、単純合算比で+948百万円(+40%)増加。EBITDAは当初通期予想の300百万円を超える、372百万円を3Q時点で達成。

	2022年8月期 3Q実績	2022年8月期 3Q実績	2023年8月期 3Q実績(連結 ^{注3})	2023年8月期 通期業績予想	主な要因
	(単体)	(単純合算 ^{注2})	前年同期比 (連結-単純合算)	修正後(連結)	
(単位：百万円)					
売上高	843	2,372	3,321 +948	4,300	マイナポイントによる決済手数料売上の増加
EBITDA	▲ 72 <small>注1</small>	▲ 84	372 +457	450	
営業利益	▲ 99	▲ 168	107 +275	120	バリューデザインとの統合により業務委託費や支払手数料等の費用削減
経常利益	▲ 115	▲ 176	93 +270	-	
当期純利益	▲ 1,372	▲ 1,460	72 +1,532	-	

(注) 1.2022年8月期3Q実績のEBITDAは営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）の合計

(注) 2.アララの2022年8月期3Q業績とバリューデザインの2022年6月期3Q業績を単純合算

(注) 3.アララの2022年9月～2023年5月（1Q～3Q）及びバリューデザインの2022年7月～2023年5月（1Q～3Q+2か月分）を連結した変則決算

2023年8月期3Q 業績概要（貸借対照表）

収益構造の改善とMCM社^{注1}による新株予約権の行使により、現預金は有利子負債総額を超える1,829百万円を計上。現預金増加により、流動比率は109%、自己資本比率は41%に改善。さらに7月3日までに全ての新株予約権の行使が完了^{注2}し、3Q以降に168百万円（461,900株）の追加払込を受領。

(単位：百万円)	2022年8月末（連結） ^{注4}	2023年5月末（連結）	前期末比較（23年5月-22年8月）
流動資産	1,776	2,594	818
現預金	1,094	1,829	734
売掛金	441	572	131
その他	240	192	▲48
固定資産	2,264	2,070	▲193
無形固定資産	2,062	1,937	▲125
のれん	1,182	1,074	▲108
投資その他 ^{注3}	202	133	▲68
総資産	4,041	4,665	624
流動負債	2,161	2,384	222
買掛金	134	365	231
有利子負債（1年内返済を含む借入金・社債）	1,662	1,562	▲100
その他	365	457	91
固定負債	447	329	▲118
有利子負債（借入金・社債）	259	154	▲105
純資産	1,431	1,950	519
自己資本比率	35%	41%	-
流動比率	82%	109%	-

(注) 1. マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社

(注) 2. 第22回新株予約権の行使完了の詳細については2023年7月4日開示の「第22回新株予約権の権利行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

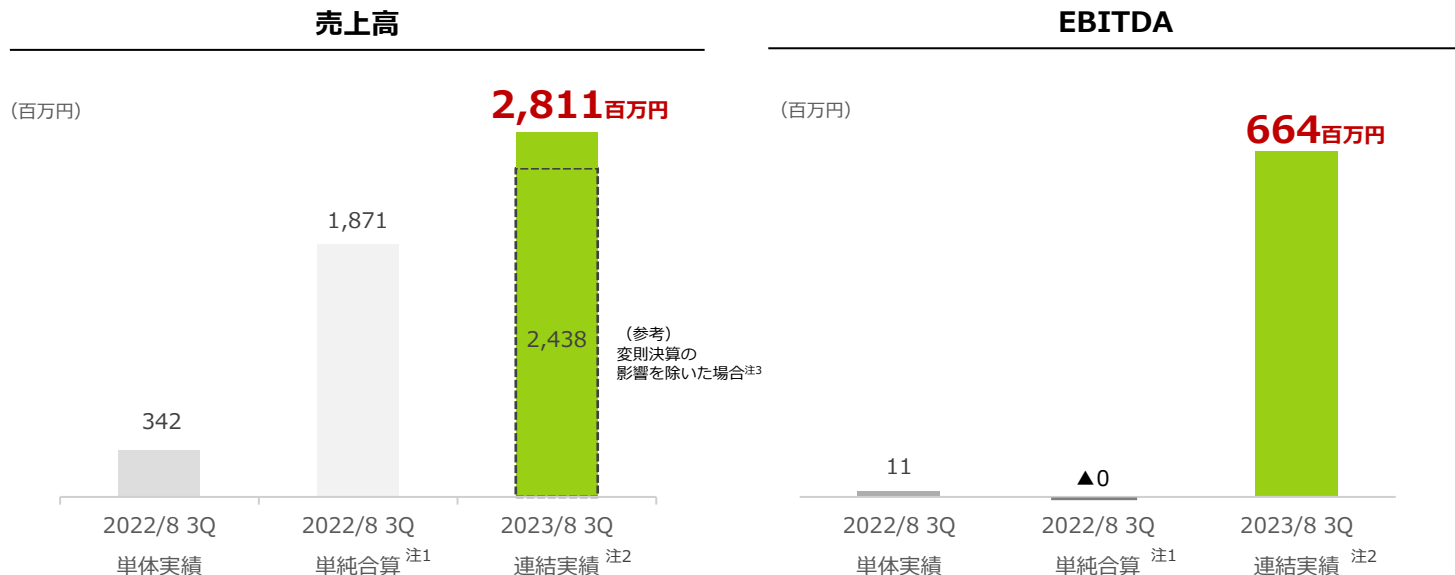
(注) 3. 有形固定資産含む

(注) 4. 2023年8月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年8月期末に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
- 4. 事業別業績・指標**
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

2023年8月期3Q キャッシュレスサービス事業の業績

バリューデザインの変則決算^{注2}とマイナポイント関連の手数料売上高の増加、リカーリング収益の増加等により、3Q売上高が前年同期の単純合算^{注1}と比較して+940百万円増加。EBITDAは前年同期比で+664百万円の増加。



(注) 1. アララの2022年8月期3Qにおけるキャッシュレスサービス事業の業績とバリューデザインの2022年6月期3Qの業績を単純合算

(注) 2. アララの2022年9月～2023年5月（1Q～3Q）及びバリューデザインの2022年7月～2023年5月（1Q～3Q+2か月分）を連結した変則決算

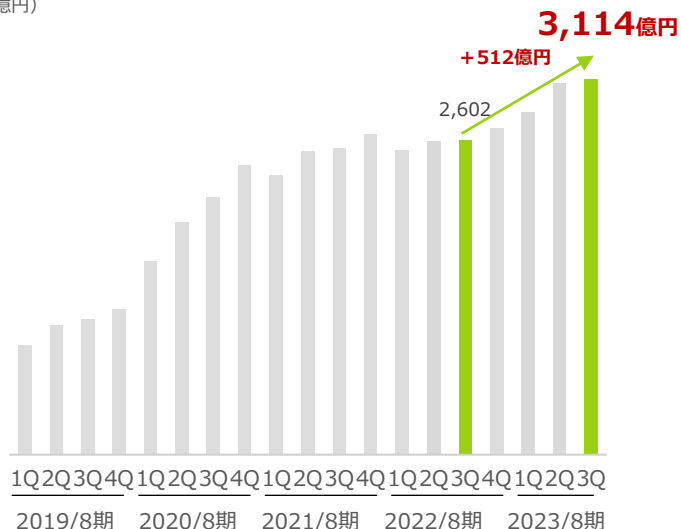
(注) 3. アララの2023年8月期3Qにおけるキャッシュレスサービス事業の業績とバリューデザインの2022年7月～2023年5月（1Q～3Q+2か月分）の業績を単純合算

2023年8月期3Q キャッシュレスサービス事業の主要KPI

2023年8月期3Qの決済額は3,114億円となり、前年3Q比で+512億円増加。
新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに堅調に拡大している。

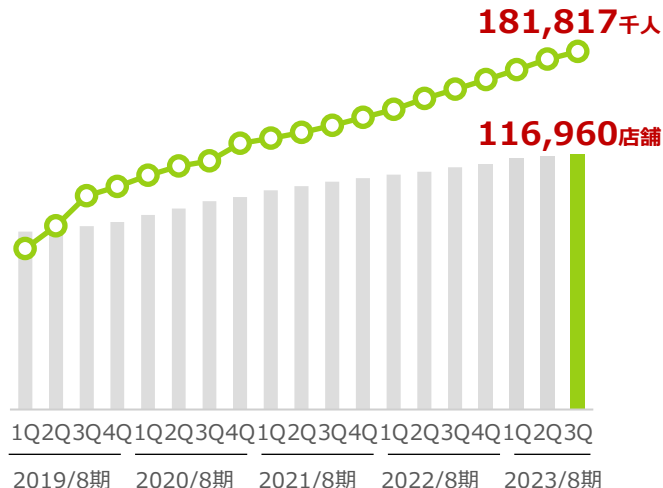
決済額推移

(億円)



累計店舗数・累計エンドユーザー数推移

(店舗：店、エンドユーザー：千人)



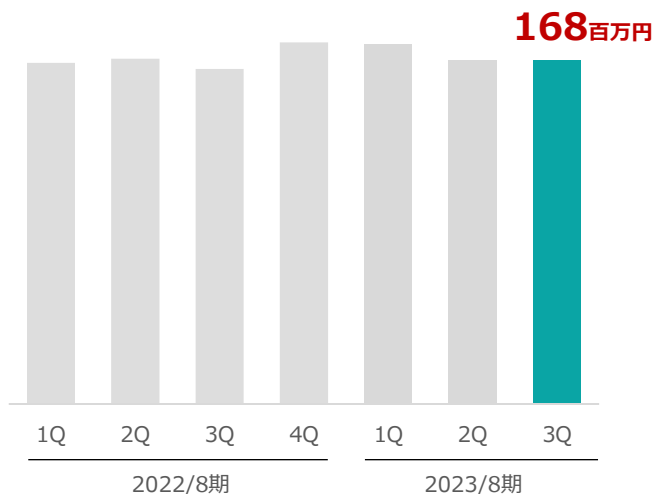
(注) アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

2023年8月期3Q ソリューション事業の業績

ソリューション事業の主要な部分を占めるメッセージングサービスを中心に売上高は堅調に推移。
 メッセージングサービスの先行投資として広告販促費等が増加したことによりEBITDAは減少。

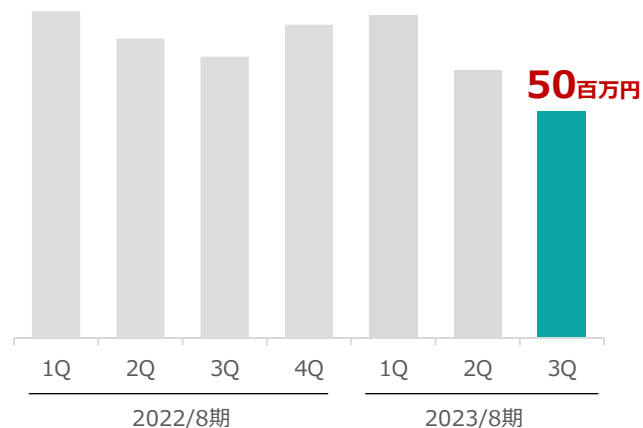
売上高推移

(百万円)



EBITDA推移

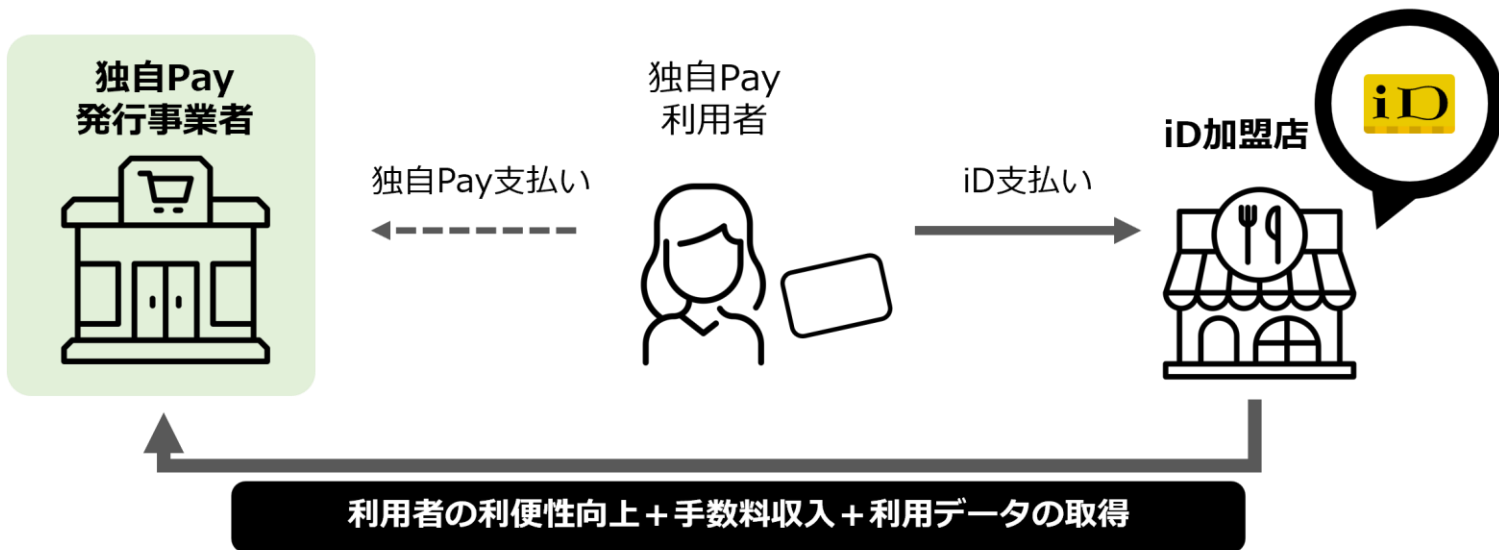
(百万円)



1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

NTTドコモの電子マネー「iD」ライセンスを取得し、 「iD」加盟店での独自Pay利用を可能に

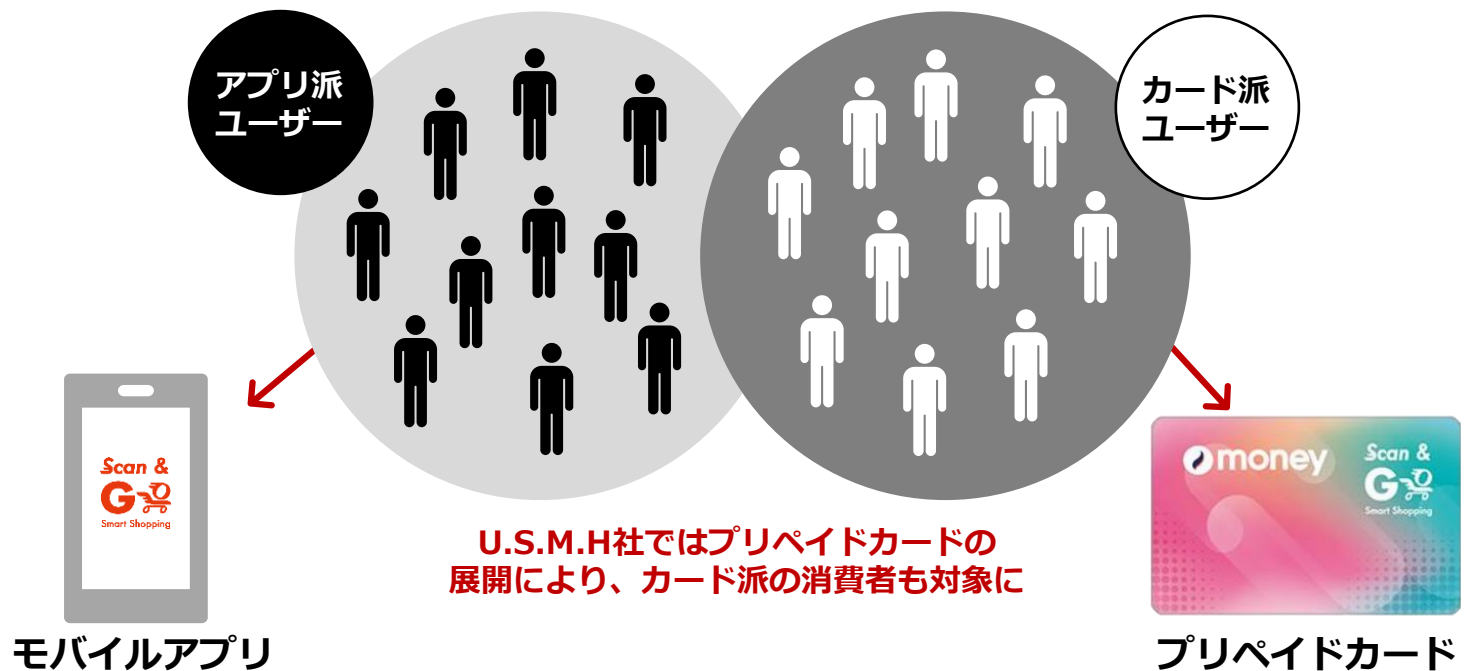
株式会社NTTドコモが提供する電子マネー「iD」のライセンスを取得し、バリューデザインが提供する独自Payサービスが、全国200万か所を超える「iD」加盟店でも利用可能となる。



※ 「iD」ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

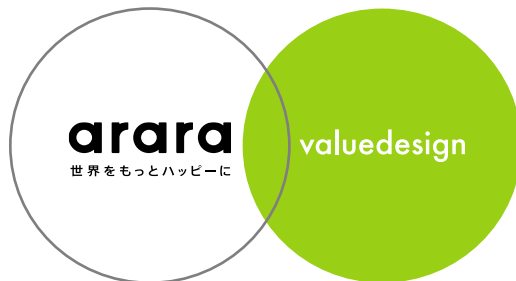
アプリ派とカード派の両エンドユーザーにキャッシュレス決済手段を提供

当社グループはモバイルアプリとプリペイドカードの両面で顧客を支援し、金融包摂の観点から、アプリを使わないカード派の層にもキャッシュレス決済手段を提供。直近では首都圏最大規模のスーパーマーケットを展開するU.S.M.H社^{注1}においてモバイルアプリ「Scan & Go」に加え、「Scan & Go カード」を新たに提供。



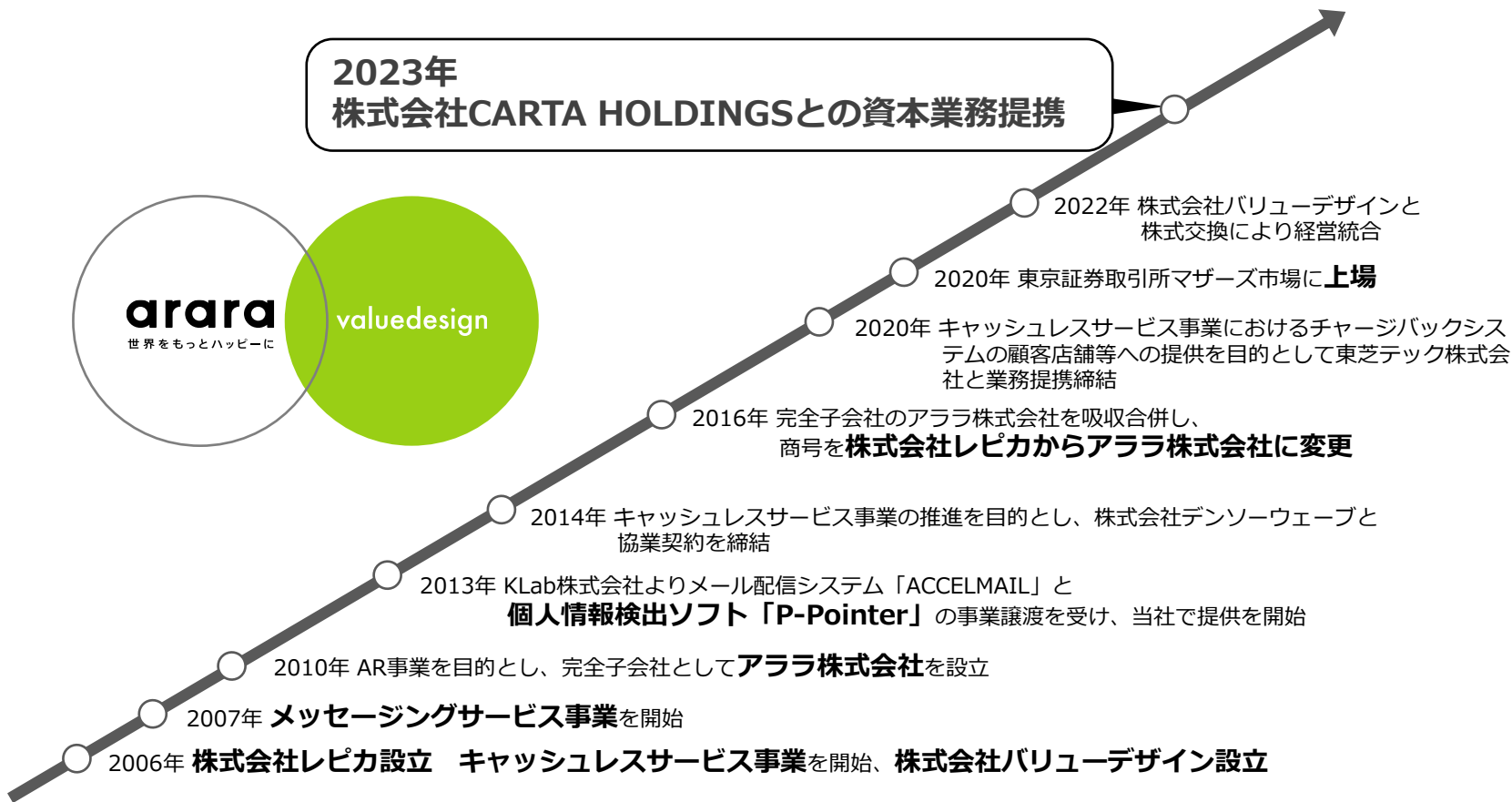
(注) 1.ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 通期業績予想の上方修正
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix



会社名	アララ株式会社			
代表者	代表取締役会長	岩井 陽介	代表取締役社長	尾上 徹
設立年月日	2006年8月			
役員構成	代表取締役会長	岩井 陽介	社外取締役	金子 毅
	代表取締役社長	尾上 徹	社外取締役	加藤 徹行
	取締役副社長	井上 浩毅	社外取締役	井上 昌治
	取締役	林 秀治	社外取締役	種谷 信邦
			社外取締役	米田 恵美
本社所在地	東京都港区南青山二丁目24番15号 青山タワービル別館			
資本金	698百万円 (2023年2月末)			

会社名	株式会社バリューデザイン	
代表者	代表取締役社長	林 秀治
設立年月日	2006年7月	
本社所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン14階	
資本金	100百万円	
株主	アララ株式会社 (100%)	



重要指標等の定義

カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済額	独自Payにおいて、アララ及びバリューデザインの決済額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社のサービスを活用している顧客の数
	EBITDA	利払い前・税引前・減価償却前・その他償却前利益
	顧客	当社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社サービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS (Software as a Service)	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを經由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	アララ キャッシュレス	独自Payの発行から販促、各種分析機能等をサポートする統合型キャッシュレス支援サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	クルクル	QRコードを介して顧客の店舗が消費者へコンタクトできる情報配信サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
	P-Pointer	PCやファイルサーバ内に点在する個人情報ファイルを検出する個人情報検出ツール

月次報告・メディアでの発信

2022年10月より、ホームページ上で月次業績報告の開示を開始。

四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。Twitterにて公式チャンネルや副社長の井上による情報発信を行っております。

月次業績報告



メディア・SNSでの発信



アララ【公式】
Twitter
@arara_inc



アララ副社長 井上
Twitter
@hao_inoue

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。